

学びの領域

| 1 年 次                                                                                                                                                                                                                                                        | 2 年 次     | 3 年 次                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 医療行動科学領域                                                                                                                                                                                                                                                     |           |                                                                                                                            |
| 歯科医師としてのプロフェッショナリズムを修得するための知識・技能を1年次から4年次まで一貫して学修します。                                                                                                                                                                                                        |           |                                                                                                                            |
| 教養系領域<br>(保健体育・教養・外国語・準備教育)<br>歯科医師には専門知識・技術だけでなく、幅広い教養も必要という観点から、充実した教養科目群を設けています。「自主創造の基礎1」では、パソコンを利用した情報の処理方法や科学レポートの作成法を学修し、「自主創造の基礎2」では、問題解決の技法とグループ討議を中心とした学修を行います。外国語科目は「英語」「ドイツ語」を必修科目としています。準備教育科目の「物理学」「生命科学」「数学」においては、基礎歯科学との関連性を重視した学修指導を行っています。 | 病態基礎医学領域  | 病気の実態を解明するための「微生物・免疫学」「病理学」を学び、実際の歯科治療の知識・技術修得へ向けて基礎知識を身につけます。                                                             |
|                                                                                                                                                                                                                                                              | 臨床歯科医学領域  | からだ全体についての医学的知識をもとに、歯科治療はどうあるべきかという理論と具体的な治療法について学びを深めていきます。さまざまな歯科疾患とその治療法を学び、多様な医療対応を修得します。さらに、科学論文の理解に必要な医療統計学の基礎を学びます。 |
|                                                                                                                                                                                                                                                              | 社会系歯科医学領域 |                                                                                                                            |
|                                                                                                                                                                                                                                                              | 基礎形態機能学領域 | 「歯の解剖学」「解剖学」「生理学」など歯科医師になるために必要となる基本的な科目を中心に、生体の構造や機能について幅広い医学知識を学修します。                                                    |
| 分子生物学領域                                                                                                                                                                                                                                                      |           | 「生化学」「薬理学」などを介して、からだの器官や組織、細胞レベルの機能や生体と薬物との相互作用を学び、からだ全体についての医学的知識を学修します。講義と実習を組み合わせることで、知識と実践の両方を伴った医学・歯科医学の基礎を身につけます。    |
| 歯科医学総合講義領域 1～3                                                                                                                                                                                                                                               |           | 各学年で学ぶべき知識・技術が確実に修得されているかを再確認することを目的にした科目で、講義と試験で構成されています。試験結果は個人ごとにデータベース化され、重点課題を明確にした学修目標を定めることによって、確実なステップアップが図れます。    |

特色ある科目

自主創造の基礎 1・2

日本大学の教育理念である自主創造は、知的好奇心を持ち、自らが課題に取り組み、新しい道を切りひらくことです。日本大学では、学生一人ひとりが「自主性」と「創造性」に根ざした「将来目標を設定する意識付け」「学ぶ目的の意識付け」ができるような「自主創造型パーソン」の育成を目指し、全学共通初年次教育科目として設置されています。そのために1年次では「自主性」を涵養し、「創造性」への導入を目指した「自主創造の基礎(初年次教育科目)」を展開しています。松戸歯学部で求められる学修技法や将来の良き社会人に繋がる学修のあり方について学びます。



医療行動科学 1・2

1・2年次は、授業は統合型講義で行われ、知識の修得だけではなく、学内外での体験学修を含め、社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していきます。



医療行動科学 3  
〈患者－医療者関係学／医療人間学〉

3年次は、患者と医療者のあるべき関係について深く考え、付属病院における「患者付添実習」を通して自らが取るべき行動指針について学修します。

栄養学

健康と栄養の密接な関係について、歯科領域から、食育(さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を修得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること)に対するアプローチを探索し、学びを深めます。

学修スペースについて

松戸歯学部では学修支援の一環として学修スペースの充実を図っています。学修スペースとして図書館の他に学生セミナー室も完備され、さらに学生同士が知識を深め合いながらグループ学修ができるよう午後5時以降は学生食堂を学修スペースとして開放しています。学内では、多くの学生がこれらの学修スペースを利用し、毎日の講義・実習の復習や試験に向けて大学に残って勉強しています。



Message

1・2年次の学びについて

大日方 雪乃 さん



1年次では、教養科目である数学や物理学、生化学、科学、英語、ドイツ語などを学び、2年次には、基礎医学である解剖学や組織学、生理学、生化学、細菌学などを学びました。  
一番印象に残っているのは、2年次の後期に行う、「解剖実習」です。人体の骨や筋肉、各臓器などについて、実際に触れて学ぶことができ、歯科医師も医師と同じく、生命を預かる仕事だと改めて感じました。  
松戸歯学部では勉強だけでなく、学生生活も充実していて、私はボランティアのサークルに入り、多くの学外の方と交流することでコミュニケーション能力を鍛えています。  
口腔の健康は全身の健康に繋がると言われているため、治療法だけでなく、予防歯科についてもしっかり身につけ、全身の健康をサポートできる歯科医師になりたいと考えています。

Message

3年次の学びについて

村岡 瑠莉 さん



3年次では、2年次までに学んだ基礎医学を応用して、「歯科医師らしい科目」を学修します。実習が増え、臨床の雰囲気を実際に感じたことで、1・2年次よりも歯科医師になる自覚が芽生えました。初めての入れ歯製作は3年次です。とても時間がかかり、途中でくじけそうにもなりますが、完成した時には達成感を感じました。また、学生同士で患者役と歯科医師役になり、患者さんへの接し方の実践もあります。講義も実習も両方あるため、知識を詰め込みながら、技術を身につけることはとても難しく、新しい科目に慣れるまで時間がかかりました。しかし、分からないことが増えてきたときには、すぐに相談できる先生方がたくさんいて、いつも助けていただきました。学生と先生方との距離が近いのも松戸歯学部の魅力です。  
先生方のように、気軽に話しかけることのできる歯科医師を目指したいと考えています。

学びの領域

学びの特色

| 4 年 次                                                                                                                          |  | 5 年 次                                                                                                                                                |  | 6 年 次                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 共用試験 (CBT OSCE)                                                                                                                |  | OSCAT (臨床能力到達試験)                                                                                                                                     |  | 歯科医師国家試験                                                                            |
|                                                                                                                                |  |                                                                                                                                                      |  |                                                                                     |
| 医療行動科学領域                                                                                                                       |  |                                                                                                                                                      |  |                                                                                     |
| 総合医学領域                                                                                                                         |  | 臨床実習領域                                                                                                                                               |  |                                                                                     |
| <p>5年次に行われる臨床実習前に、内科学・外科学などを主体にした医学分野を横断的かつ複合的に学び、歯科学を医学の一分科として捉える「口腔科学 (Oral Science)」を展開し、実践するための知識・技術を、統合型講義によって身につけます。</p> |  | <p>臨床実習は、電子カルテシステムなど、さまざまな最新設備が整備された隣接の付属病院で実施されます。指導医の指導を受けながら、1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと実際に接することによって、技術だけにとどまらず、歯科医師としての態度も学び、職業意識を培う機会にもなります。</p> |  |                                                                                     |
| 臨床歯科医学領域・<br>社会系歯科医学領域                                                                                                         |  |                                                                                                                                                      |  |                                                                                     |
| <p>からだ全体についての医学的知識をもとに、歯科治療はどうあるべきかという理論と具体的な治療法について学びを深めていきます。さまざまな歯科疾患とその治療法を学び、多様な医療対応を修得します。</p>                           |  |                                                                                                                                                      |  |                                                                                     |
|                                                                                                                                |  |                                                                                                                                                      |  |                                                                                     |
| 歯科医学総合講義 4                                                                                                                     |  | 歯科医学総合講義 5・6                                                                                                                                         |  |                                                                                     |
| <p>1～4年次までに学修した自然科学分野、基礎歯科医学分野及び臨床歯科医学分野の知識を整理・深化、統合し、その学修成果の評価の一つである共用試験合格を目指します。</p>                                         |  | <p>松戸歯学部の講義や臨床実習を通して学んだ知識を6年間の総まとめとして科目横断的な統合的かつ専門的な講義を通して知識の修得を確実なものとし、歯科医師国家試験合格を目指します。</p>                                                        |  |  |

|                                                                                                                                                                                               |  |                                                                                                                                                                                                                                      |  |                                                                                                                                                                                            |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b>障害者歯科学</b><br>「障害者歯科学」の専門講座を開設している本学部では、障がいを持った患者さんに対する歯科医療にも力を入れています。摂食・嚥下(えんげ)機能障害を有する患者さんの全身疾患への理解を深めるとともに、社会歯科学的背景を理解し課題解決のための知識・技術を修得します。                                             |  | <b>医療行動科学 4</b><br><b>〈医療面接・歯科臨床診断学／医療コミュニケーション学〉</b><br>4年次は、医療面接を通して、医療情報を収集し、最適な医療を行うために必要な診断までのプロセスや患者と良好な信頼関係を築くための医療コミュニケーションについて学修します。                                                                                        |  | <b>課題別臨床実習</b><br>各診療科が設置したコースから興味を持ったコースを選択できるシステムで、より専門的な知識・技術の修得が可能です。                                                                                                                  |  |
| <b>共用試験 (CBT・OSCE)</b><br>「共用試験」は、実際に患者さんと接する際に必要な知識・態度・技能を身につけているかを判断する試験で、臨床実習前の学修のまとめとして実施されます。コンピュータを用いて知識・問題解決能力を評価するCBTと、態度・診察技能を評価する客観的臨床能力試験OSCEがあり、この試験に合格すると5年次に進級し、臨床実習に進むことができます。 |  | <b>診療参加型臨床実習 (SD 診療)</b><br>付属病院を受診する患者さんの治療に参加し、歯科医療の実践力を培います。指導医によるマンツーマン形式で行われますが、患者さんの初診時医療面接と応急処置に始まり、診査・検査・情報収集と分析、総合的治療計画の立案、患者さんへの説明までを学生が行います。さらに、指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し、実体験を通して患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。 |  | <b>歯科医学総合講義 6</b><br>診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師になれるよう実習と講義を行い、歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。  |  |
|                                                                                                                                                                                               |  | <b>OSCAT (臨床能力到達試験)</b><br>5年次の臨床実習の総括として、複数の診療科で課題を受験し評価を受けます。これによって各々の臨床能力到達度を確認することができます。                                                                                                                                         |  |                                                                                                                                                                                            |  |

Message

4年次の学びについて

中山 理恵 さん



4年次になると、臨床科目が増え、より詳しく、専門的に学修します。私が特に興味深く感じた講義の一つに「矯正歯科学」があります。私自身、歯の矯正をしたのですが、当時は器具のことは分かりませんでした。矯正歯科学を学んだことで、当時、私の歯がどのように動いたのか、この器具がなぜ必要だったのかが理解できました。また、歯科医学総合講義4では、4年次に行われる、共用試験 (CBTとOSCE) に向けて、今までの知識を総復習する授業が行われます。試験に向けては、自分に合った勉強法を見つけることが大切です。私は、毎日コツコツ、友達と一緒に励まし合い、助け合いながら勉強しました。実践力を培えることも松戸歯学部の魅力のため、毎日コツコツ勉強することはもちろん、友達と助け合いながら、歯科医師になるための力をつけていきたいです。

Message

5・6年次の学びについて

大國 眞明 さん



5・6年次における学びの特徴は、全国でもトップクラスの来院患者数を誇る、付属病院にて臨床実習が行えることです。また、本学部の臨床実習は、見学だけでなく、実際の治療に参加する診療参加型のため、即戦力となる歯科医師に成長できます。また、5年次は朝に要点をまとめた講義が毎日行われ、6年次になると、歯科医師国家試験合格へ向けた、先生方の親身で情熱溢れる講義が行われます。しかし、講義を聴いているだけでは歯科医師国家試験合格に近づけないため、毎日その日の講義を復習し、友人と問題を出し合いながら、知識を定着させるようにしています。松戸歯学部での6年間はバランスよく学べるため、あっという間に時間がたってしまいます。後悔が残らないよう1分1秒無駄にしないように気を付け、学力だけでなく、人間性を磨くことにも力を入れています。歯科医師国家試験合格は1番の目標ですが、合格するための過程で自分の目指す歯科医師に近づくことができるのも、松戸歯学部のいいところだと思います。